

殴れるよ



東郷 潤

嫌な奴を殴りたいと思いました。 . . .でも、自分にその力はありません。

ぼーか



それに、たとえ力があっても、自分でやるのは危険です。仕返しされるかも知れません。

そこで他の人にやらせたいと思いました。 . . .でもどうしたら、他の人に殴らせることが出来るでしょう？

お金を払えば、出来るかも知れません。



でも、お金はありません。・・・それに、たとえ有っても自分のお金を使いたくはありません。

権力を使えば、命令できるかも知れません。



でも権力はありません。・・・それに、たとえあっても、命令した責任を問われたくは有りません。

そこで、いろいろな人に、ささやきました。



ねえ、知っている？
内緒の話なんだけどね、
あいつ本当は、
すごく悪い奴なんだって



もちろん僕たちは皆、子供の頃から、ずうっとこう教えられています。



注) 誰かを悪に分類することはとても簡単です。善と悪。たった二つしか無いのですから。地球人全員を悪人に分類することだって、出来るんですよ。絵本「どっちだ？」をご参照ください。





**そう、善悪には
恐ろしいほどの魅力があります。**

あとがき 一絵本「殴れるよ」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org